

クリーンレイク諏訪 諏訪湖だより

No.56

6月

2022/令和4年



今回のトピックス

特高受変電設備の改築工事を行っています

諏訪湖流域下水道では、平成30年度に策定した『下水道ストックマネジメント計画』に基づき、計画的に改築更新を進めており、現在、特別高圧受変電設備の改築工事を行っています。

この工事は、電力供給および処理場の運転を維持しながら行うものであり、処理場内の各施設への影響が最小限となるよう改築を行い、電力会社と連携しながら工事を進めています。

現在は特高受変電棟の建設工事と電気設備の製作を行っています。



特高受変電棟の建設工事

焼却灰搬出ホッパ棟の建設工事を行っています

諏訪湖流域下水道の下水汚泥焼却灰には、自然由来によるヒ素が含まれているため、熔融結晶化により人工骨材化してきましたが、熔融結晶化施設が老朽化したため停止しました。

現在、下水汚泥焼却灰はセメント工場へ搬出し、セメントの原料として再資源化されていますが、当処理場から安全かつ安定的に焼却灰を搬出するため、焼却灰搬出ホッパ棟を建設することになりました。

現在は焼却灰搬出ホッパ棟の建設工事と機械・電気設備の製作を行っています。



焼却灰搬出ホッパ棟の建設工事

ガスタンを修繕しています

ガスタンは、汚泥消化タンクで発生した消化ガスを貯留し、消化ガスを利用する場内の各施設（汚泥焼却棟、ガスボイラー棟）に送る設備です。

2基あるガスタンのうち、1号ガスタンは設置から43年が経過し、経年劣化により気密性が低下したため、修繕を行っています。

また、修繕に合わせて安全性を向上させるため、緊急遮断弁及びガス漏洩検知器の設置を行っています。

令和3年度に工場で部品を製造し、4年度から現場での修繕作業に入りました。本修繕工事は8月の竣工を予定しています。



1号ガスタンの修繕

BCP 訓練を実施しました

令和4年5月31日にクリーンレイク諏訪で、BCP訓練を実施しました。

水害を想定した実地訓練では、排水ポンプの設置及び運転訓練や土のう設置訓練を行いました。対応方法やポイントを確認でき、有意義な訓練となりました。

大雨を想定した情報伝達訓練では、流域関係市町村の職員の方々にも参加していただき、大雨時に大幅に水量が増加した場合の処理場、管渠及び住宅への影響や節水の必要性等について研修を行うとともに、電話とFAXにより、状況変化に応じた情報伝達や節水要請、模擬広報等を実施しました。

降雨期を前に、当事務所と流域市町村の連携が強化され、BCPの実行性の向上につながりました。

【下水道におけるBCP（業務継続計画）とは】

➤ 災害が発生した場合等を想定して、下水道機能の継続と早期回復を図るための計画です。



排水ポンプの設置及び運転訓練



土のう設置訓練